

レクリエーションスポーツ グラウンド・ゴルフ

常滑市体育館

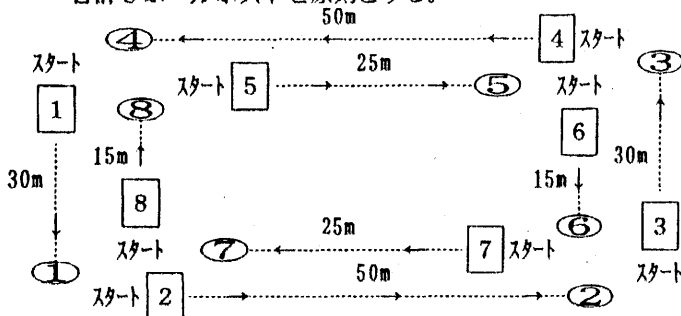
グラウンド・ゴルフは、若年層から高齢者まで、幅広く楽しむことができるニュースポーツで、ゴルフをアレンジしたゲームです。鳥取県東伯郡伯村で生涯スポーツ活動推進事業の一環として、安全で楽しい軽スポーツ、人と人とのふれあいを大切にしながら、無理なく気軽に健康な体力づくりをしていただくために考案されたものです。

老若男女、体力、運動能力そして、技術による差はほとんどなく、誰にでも、勝つチャンスが平等にあるのが最大の魅力です。

グラウンド・ゴルフの概要

1. 標準コース（ホールポスト）

- 1) ホールポストは、外回りコース4、内回りコース4の合計8ホールポストを原則とする。



2. 用具・用品 標準規則（グラウンド・ゴルフ用を使用）

1) クラブ

- (1) クラブはグリップの先端からクラブヘッドの先端までの長さが50cm以上、100cm以内であること。
(2) クラブヘッドの長さは14cm以上、16cm以下であること。厚みは、4cm以上、4.5cm以下で、打面は傾斜をつけてはならない。

2) ボール

- (1) 重さ75g以上、95g以下で、直径は6cm以内の正円であること。

3) ホールポスト

- (1) ホールポスト底円の直径は外径で36cm、上円の直径は外径で20cmで、3mm以内の線を用いる。高さは11cmで、3本の脚で均等に支えられたもの。中心部には「トマリ」を表わす鈴を取り付け鈴の直径は4cmで地表と鈴の空間は4cmとする。ボールの部分の高さは上円から50cm以上、150cm以下とする。

4) スタートマット

- (1) スタートマットのティの高さはマット面から1.5cm以下でマットにホールNoが表示してあるものが望ましい。

3. グラウンド・ゴルフの概要

- 1) クラブでボールを打ち、ホールポストにできるだけ少ない打数で入れる。
2) プレイの時間は特に決めない。全プレーヤーが終わるまでのびのびとプレイを行なう。
3) 審判員は自分自身プレイを楽しみ、自分の良心に従ってプレイ中の判定を行なう。

4. グラウンド・ゴルフのルール

第1章 エチケット

第1条 プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。

第2条 プレーヤーが打つ前後は、話したり、ボールやホールポストの近く、あるいは、ボールまたはホールポストの直後立ったりしてはならない。また、自分たちの前に行く組が終わるまでは、ボールを打ってはならない。

第3条 プレーヤーは、自分の作った穴や足跡を全部直して行かなければならない。

第2章 ゲームに関するルール

第4条 ゲーム

グラウンド・ゴルフのゲームは、所定のボールを決められた打順にしたがって、スタート位置から打ち始め、ホールポストに入って静止した状態「トマリ」までの打数を競うものである。

第5条 用具

クラブ・ボール・ホールポスト・スタートマットは、定められたものを使用しなければならない。

第6条 ゲーム中の打球練習

ゲーム中にプレーヤーはいかなる打球練習も行なってはならない。（1打付加）

第7条 援助

ヒット（打つ）するとき足場を板などで作ったり、人に支えてもらったりするなど、物的・人的な援助やアドバイス、あるいは風雨からの防護を求めたり、受けたりしてプレイしてはならない。（1打付加）

第8条 ボールはあるがままの状態でプレイ

ボールが長い草、または木の茂みなどの中に入ったときは、ボールの所在と自己のボールであることを確かめる限度においてのみ、これらのものに触れることができるが、草を刈ったり、木の枝を折ったりしてプレイしてはならない。（1打付加）

第9条 ボールの打ち方

ボールをヒット（打つ）するときはクラブのヘッドで正しく打ち、「押し出したり」「かき寄せたり」したときは「1打付加」する。ただし、空振りの場合は打数に数えない。

第10条 紛失ボールとアウトボール

ヒット（打つ）したボールが紛失したり、コート外（側溝に落ちた場合など）に出たときは、「1打付加」し、ホールポストに近寄らないで、プレイ可能な箇所にボールを置き、次の打を行なわなければならない。

第11条 プレイの妨げになるボール

プレイの妨げになるボールは、一時的に取り除くことを要求することができる。ボールを取り除くのは、ボールの持ち主であり、その際ホールポストに対して、ボールの後方にマークをしてから取り除かなければならない。

第12条 他のプレーヤーのボールにあたってるとき

プレーヤーはヒット（打つ）したボールが、他のプレーヤーのボールにあたってるときは、そのままボールの止まった位置からプレイを続ける。ただし、あてられたプレーヤーは元の位置にボールをもどさなければならない。

第13条 止まったボールが風によって動いたとき

風によってボールが動いたときは、動いて静止した場所からプレイする。動いてホールポストに入った場合は「トマリ」とする。

第14条 第1打がホールポストに入ったとき

1打目で「トマリ」となったときは、そのプレーヤーの合計打数から1回につき3打を差し引いて計算する。

第15条 ゲーム中の判定

ゲーム中の判定はプレーヤー自信が行う。ただし、判定が困難な場合は同伴プレーヤーの同意を求める。

第16条 標準コース（標準コース図参照）